

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)

【公表番号】特表 2001-503609 (P2001-503609A)

【公表日】平成 13 年 3 月 21 日 (2001.3.21)

【出願番号】特願平 10-502819

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 K 31/00

A 6 1 K 31/70

A 6 1 K 39/08

A 6 1 K 48/00

C 0 7 K 14/31

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/00 6 3 1 C

A 6 1 K 31/70 6 2 5

A 6 1 K 39/08

A 6 1 K 48/00

C 0 7 K 14/31

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 14 日 (2004.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年6月14日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第502819号

2. 補正をする者

名称 グス・ベクト 外4名

3. 代理人

住所 東京都港区虎ノ門二丁目8番1号(虎の門電気ビル)

[電話 03(3502)1476 (代)]

氏名 弁理士(6955) 江崎 光史

4. 補正対象書類名

明細書

5. 補正対象項目名

明細書

6. 補正の内容

- (1) 明細書第1頁下から第4行の「結合性をバイオテクノロジーに使用する
方法に関する。」を「結合性を測定する方法及びこのたん白質をバイオ
テクノロジーに使用する方法に関する。」と補正する。
- (2) 明細書第2頁第4行の「新規フィブリノーゲン、」を「新規フィブリノ
ーゲン結合たん白質、」と補正する。
- (3) 明細書第2頁第13行の「フィブリノーゲン」を「フィブロネクチン」
と補正する。
- (4) 明細書第2頁第18行の「S. エピデルミディス株」を「S. エピデル
ミディス株HS」と補正する。
- (5) 明細書第3頁第4行の「販用量依存法」を「使用量依存方法」と補正す
る。
- (6) 明細書第4頁第1行の「本発明の目的に使用されないS. エピデルミデ
イス株HB」を「本発明の目的に使用されない。S. エピデルミディス

大
審
査

株HB」と補正する。

- (7) 明細書第4頁下から2行の「不活性キャリアー」を「不溶性キャリアー」と補正する。
- (8) 明細書第5頁第1行および3行の「FG」を「FIG」と補正する。
- (9) 明細書第6頁第17行の「Swedish University of Agricultural Scieme」を「Swedish University of Agricultural Sciences」と補正する。
- (10) 明細書第6頁第20行の「LB (Luria Berfaniブロス)」を「LB (Luria Bertaniブロス)」と補正する。
- (11) 明細書第6頁下から第1行の「染色体DNA Loefeldahl 等(1983)に従って調製する。」を「染色体DNAを Loefeldahl 等(1983)に従って調製する。」と補正する。
- (12) 明細書第7頁1行の「ブドウ球菌からの染色体DNAは、」を「レンサ球菌からの染色体DNAは、」と補正する。
- (13) 明細書第7頁10行の「ペプシン」を「ペプシンは」と補正する。
- (14) 明細書第8頁下から1行の「3つの異なる菌株(2.10及びJW27)」を「3つの異なる菌株(2.19及びJW27)」と補正する。
- (15) 明細書第10頁5行の「図4は」を「図5は」と補正する。
- (16) 明細書第10頁13行の「クロタイターを」を「クロリットルを」と補正する。
- (17) 明細書第11頁7行の「pH 1.8 7.9×10^3 cfu/ml」を「pH 1.8 7.0×10^3 cfu/ml」と補正する。
- (18) 明細書第11頁下から1行の「性格な読み枠中にあることを示す。」を「正確な読み枠中にあることを示す。」と補正する。
- (19) 明細書第12頁18行の「分子量～190kba」を「分子量～119kDa」と補正する。
- (20) 明細書第12頁下から3行の「GAX TCX GAX AGXの配列)」を「GAX TCX GAX AGXの共通配列)」と補正する

。

- (21) 明細書第17頁20行の「例7：S. エピデルミディスの種々の単離物から対応DSくり返し域を分析するためのPCR増幅」を「例7：S. エピデルミディスの種々の単離物から対応DSくり返し域を分析するためのPCR増幅検査」と補正する。
- (22) 明細書第18頁16行の「S. カルノーサスおよびS. ヒイカス)」を「S. カルノーサス、S. saprophyticus およびS. ヒイカス)」と補正する。
- (23) 明細書第18頁下から6行の「同定することができることを示す。」を「同定することができることを示す。」と補正する。
- (24) 明細書第19頁下から7行の「基室」を「基質」と補正する。